

労災疾病等13分野医学研究・開発、普及事業
分野名「働く女性のためのメディカル・ケア」

女性外来の モデル・システムの開発

— 女性外来に関するアンケート調査からの報告 —



独立行政法人 労働者健康福祉機構
働く女性健康研究センター

和歌山労災病院 第三呼吸器科部長

辰田 仁美

研究目的

この数年、女性医師による女性外来の開設が相次ぎ、全国に女性外来が設置されている。女性外来に多様な主訴で受診する患者を労災病院全体で集積し、理想的な女性外来のモデルシステムを構築する目的でアンケート調査を行った。

方法

文章にて同意を取得し、巻末のアンケート調査を初診時に行い、3ヵ月後に満足度調査も実施した。満足度アンケートは初診時に受診者に渡し、後日郵送してもらい、事務の対応と診察の二つに分けて、それぞれ%で記入してもらった。

初診時のアンケートは、①患者背景（年齢、居住地、就労状況）、②健康状態（健康への不安、ストレスなど）、③女性外来受診までの経緯について調査、また、満足度アンケートでは、①満足度、②女性外来への希望を調査した。

対照として、女性外来を受診していない養護教員21名にアンケート調査を行い、日常生活でのストレス、医療機関受診への抵抗感などを調べた。

また、女性外来を受診されている人以外を対象とした女性外来についての追加アンケート（内容：①女性外来の担当医師の性別について、②女性外来の医師に何を求めるか等）を実施した。

対象

女性外来の設置されている労災5病院（釧路・東北・関東・中部・和歌山）において、2005年4月から2007年3月に女性外来を受診した650名を対象とした。

アンケート配布数 : 650件
回収件数及び回収率 : 初診時アンケート回収率 549件／650件 (84.5%)
満足度アンケート回収率 487件／650件 (74.9%)

また、追加アンケート調査として和歌山労災病院における女性外来50名、内科外来50名、産婦人科外来44名を受診した患者各50名を対象とした。

結果

年齢・居住地

図1 年齢 n=532

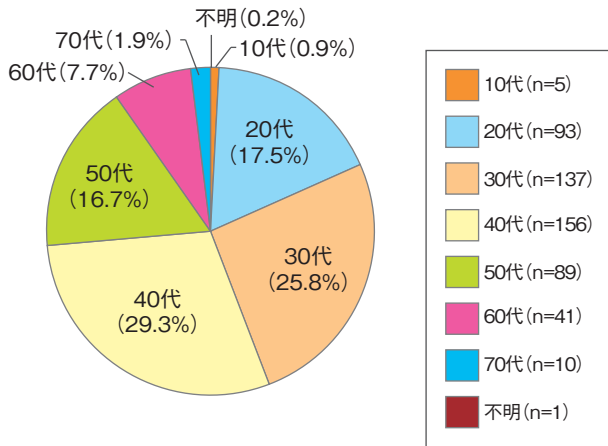
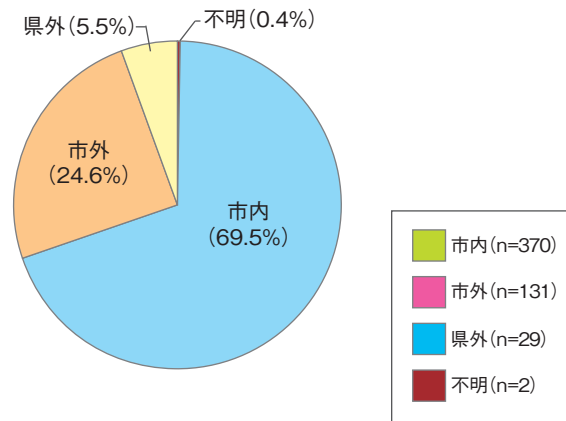


図2 居住地 n=532



- ・ 図1より受診患者は、11歳から76歳であり、平均年齢は41.9歳で、30歳代、40歳代が多いことがわかった。
- ・ 図2より居住地は病院と同じ市内の人が370名(69.5%)と最も多かったが、29名(5.5%)の人は県外から受診していた。



就労状況

図3 就労状況 n=532

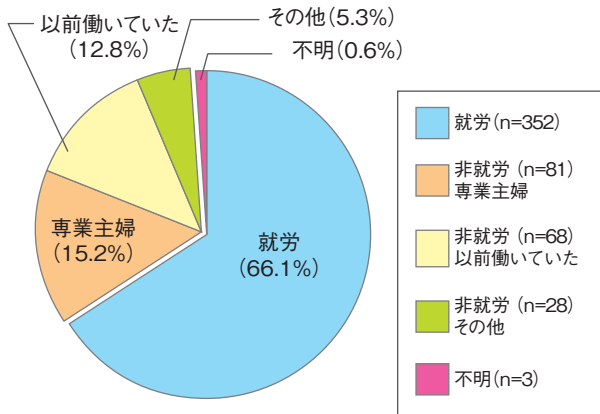


図4 1週間の勤務日数 n=352

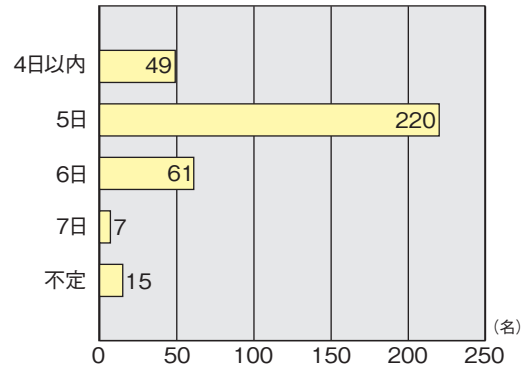


図5 交替制勤務の有無 n=352

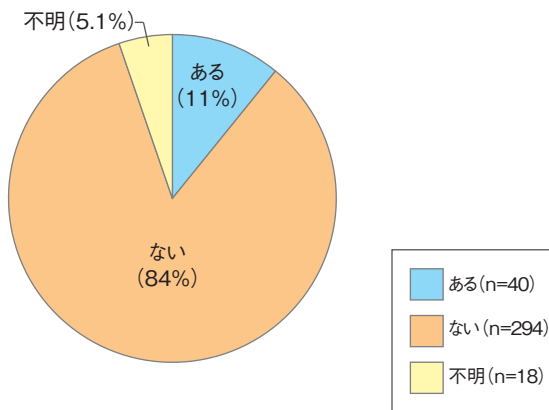
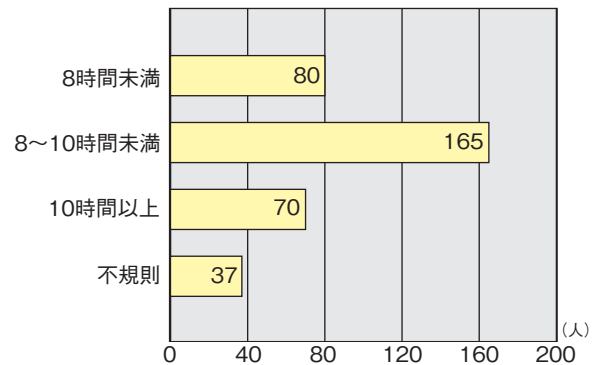


図6 1日の勤務時間 n=352



- ・ 352名 (66.1%) は就労者で、68名 (12.8%) の人は、現在働いていないものの以前就労していた。(図3)
- ・ 1週間の勤務日数は5日間で最も多く、220名であった。一方勤務日数不定の人でも15名いた。(図4)
- ・ 交代勤務があると答えたのは40名 (11%) であった。(図5)
- ・ 1日の勤務時間では8時間と答えた人が最も多かったが、月40時間以上の超過勤務となる10時間以上と答えた人は70名であった。(図6)

図7 就労形態 n=352

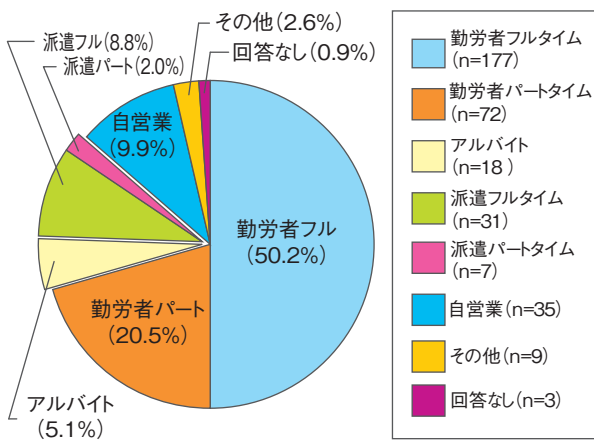


図8 あなたの勤務先の事業内容について n=352

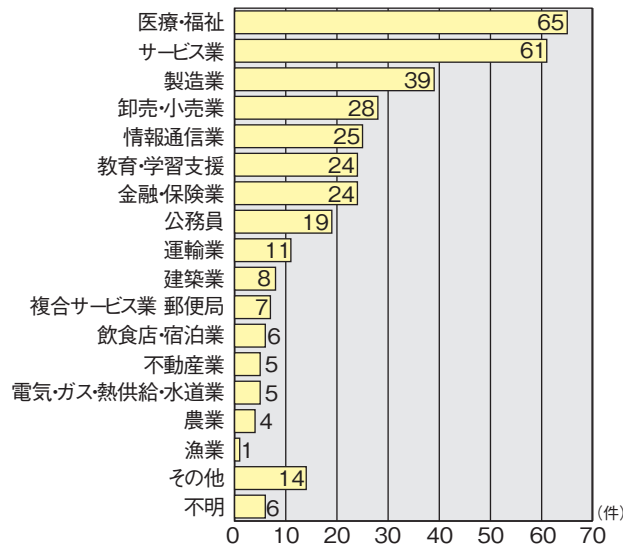


図9 あなたの職種について n=365 (複数回答あり)

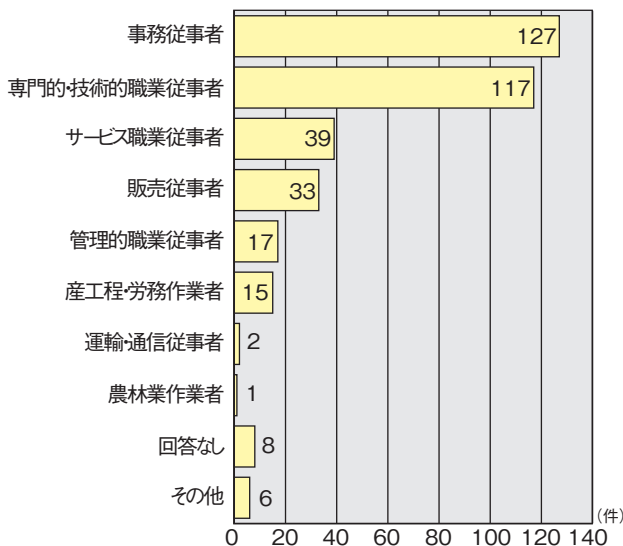
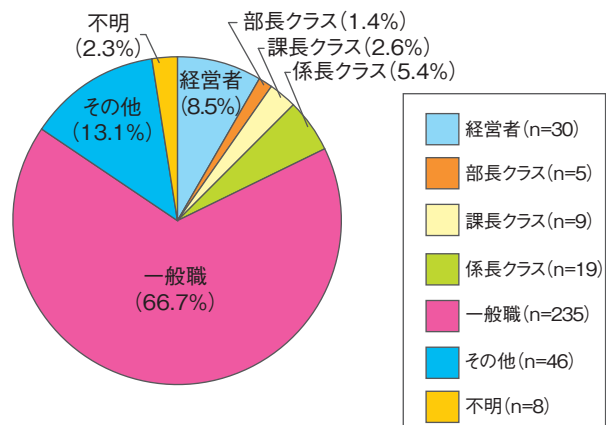


図10 あなたの職位について n=352



- ・フルタイム勤務は177名(50.2%)であり、派遣フルタイムは31名(8.8%)であり、両者を合わせると208名(59%)であった。(図7)
- ・勤務先の業種では、医療福祉関係が65名と最も多く、次いでサービス業61名であった。(図8)
- ・職種では事務従事者が127名と最も多く、次いで専門・技術職業従事者117名であった。また、一般職の人が235名(66.7%)を占め、管理職の人は、63名(17.9%)であった。(図9、図10)

受診者の健康状態

図11 健康について
悩む事がありますか? n=352

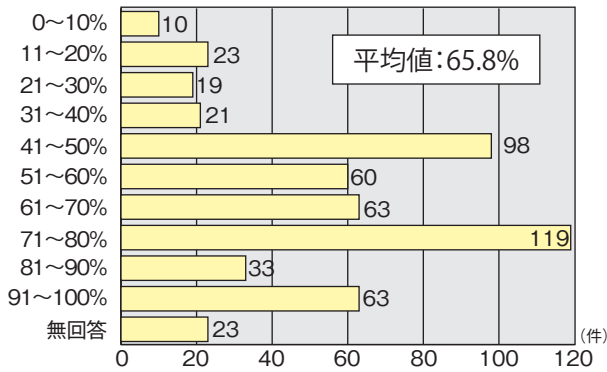


図12 健康の悩みについて
相談の有無 n=532

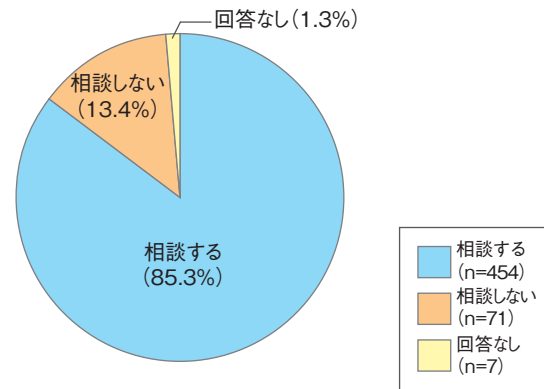
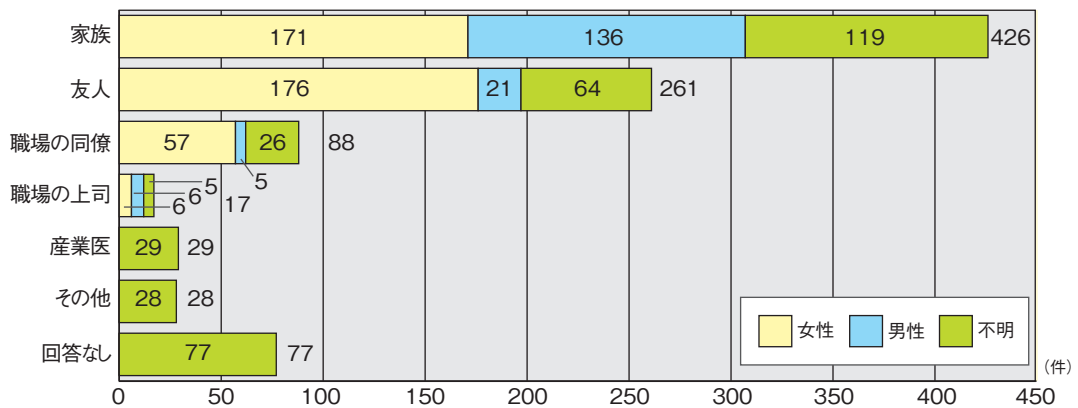


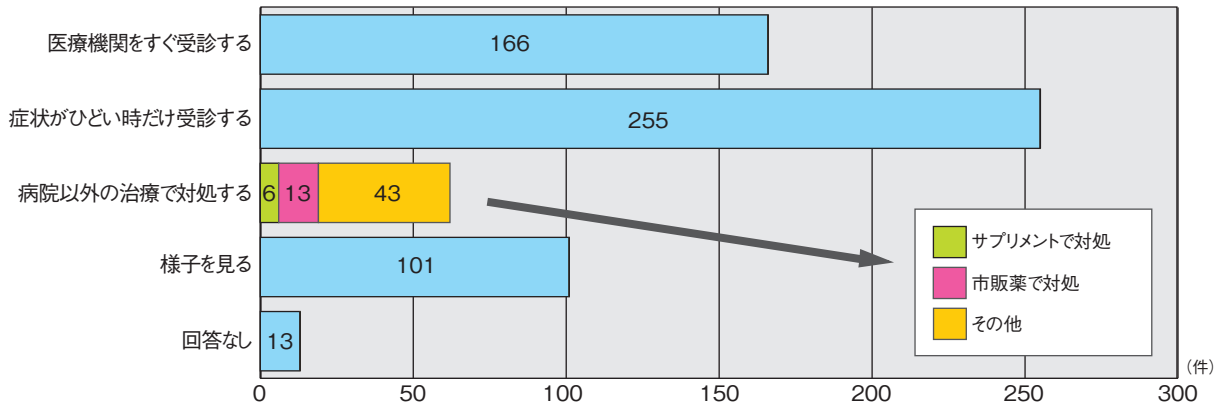
図13 健康の悩みの相談相手 n=926 (複数回答あり)



- 健康について悩みの有無に関して、パーセンテージで答えてもらったところ、41~50%と71~80%に二つの山があり、平均値は65.8%であった。(図11)
- 健康について悩んだ時に、「誰かに相談する」と答えたのは、454名(85.3%)であった。(図12)
- 相談相手は、家族が426名、友人が261名であったが、性別を考慮すると女性の友人が176名と最も多く、次に女性の家族171名の順であった。一方、産業医と答えた人は29名であった。(図13)

有症状時の対処

図14 何か症状がある時はどうしますか？ n=597 (複数回答あり)



・有症状時に、最も多い対処方法は「症状がひどい時だけ受診する」255名であった。一方、「医療機関をすぐ受診する」と答えた人は166名であった。

医療機関受診の抵抗感

図15 医療機関受診への抵抗感 n=532

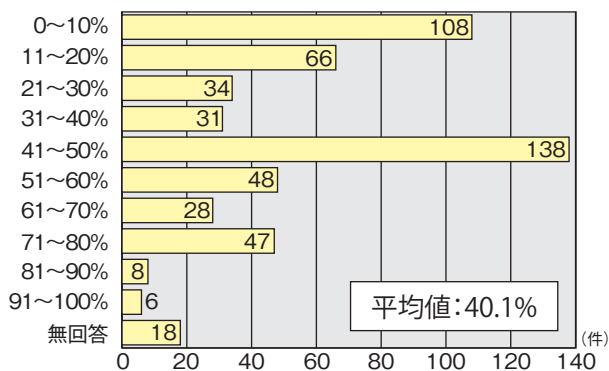
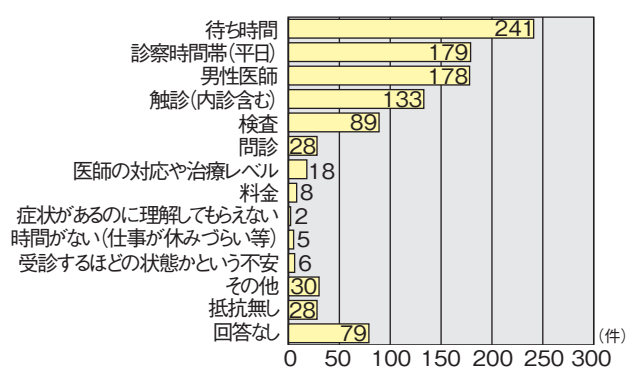


図16 抵抗を感じる点 n=1024 (複数回答あり)



・医療機関受診の抵抗を%で回答してもらったところ、平均値は40.1%であった。「全く抵抗がない」と答えた人(0-10%)は108名であった。(図15)

・抵抗を感じている点で、最も多いのが待ち時間(241名)、次に診察時間帯(179名)、男性医師(178名)の順であった。(図16)

女性外来受診までの経緯

図17 女性外来受診の理由 n=1090 (複数回答あり)

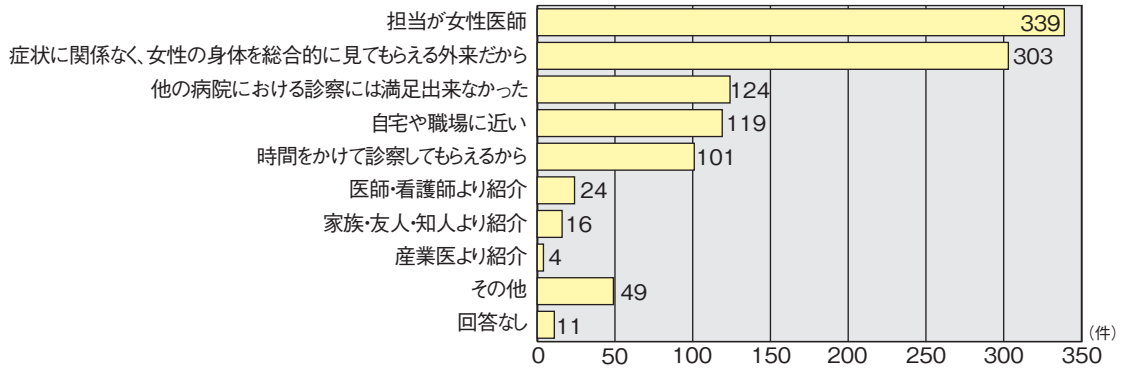


図18 他の医療機関の受診経験 n=532

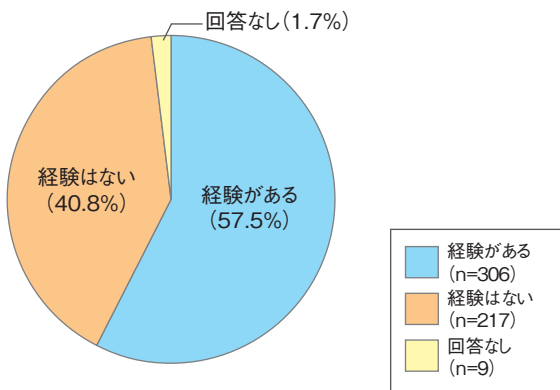


図19 医療機関未受診の不安感 n=217

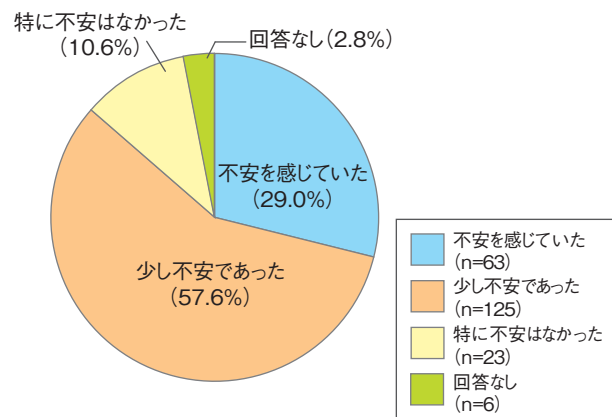
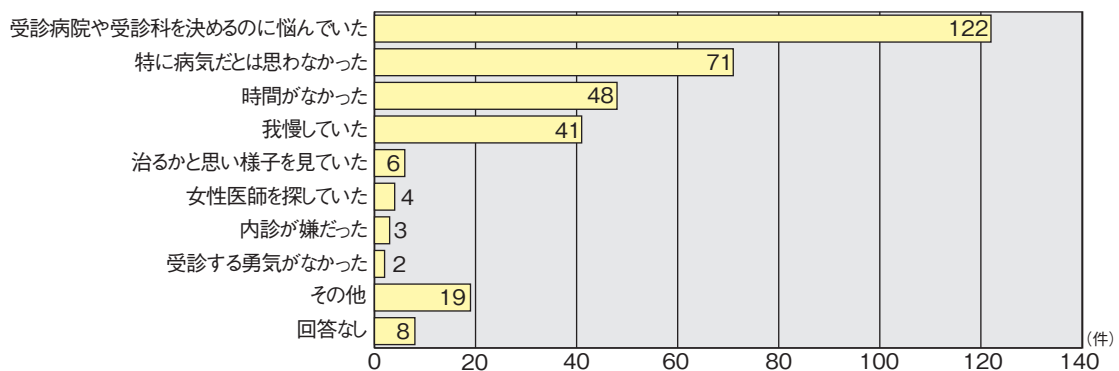


図20 他の医療機関を受診しなかった理由 n=324 (複数回答あり)

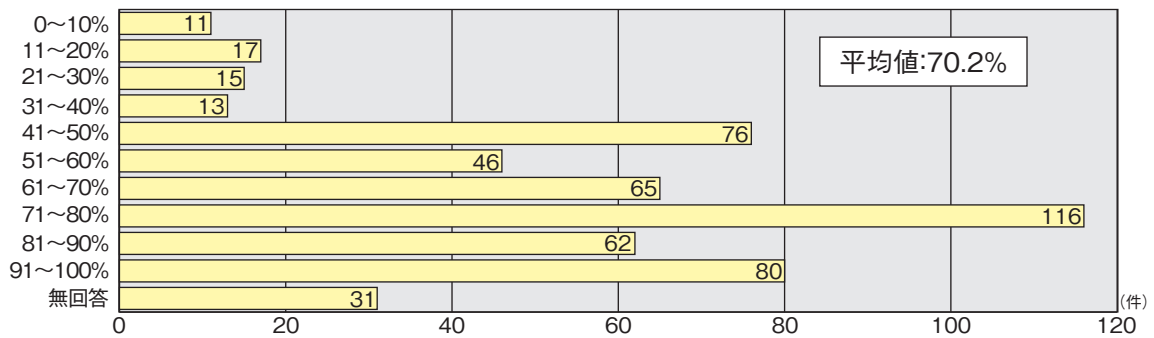


- ・女性外来受診のきっかけは、「担当が女性医師である」が339名と最も多く、次に「症状に関係なく診てもらえる」303名であった。(図17)
- ・女性外来受診までに306名(57.5%)の人は、他の医療機関を受診していた。(図18)
- ・他の医療機関を受診しなかった理由として、「受診病院や受診科を決めるのに悩んでいた」が最も多く122名、「病気だと思わなかった」71名、「時間がなかった」、「我慢していた」、と続いていた。(図20)
- ・医療機関受診までに不安を感じなかったのは23名(10.6%)のみで、残りの人はなんらかの不安を感じていた。(図19)



日常生活でのストレス

図21 日常生活でのストレスについて n=532



- 日常生活でのストレスは、平均値70.2%であった。(図21)
- 今回の受診にストレスが関与していると答えた人は311名(58.4%)であった。(図22)
- ストレスの原因は、仕事と答えた人が424名と最も多く、家庭と答えた人は283名であった。詳しい内容は、仕事では職場の人間関係であり、家庭では家族関係であった。(図23)

図22 ストレスの関与 n=532

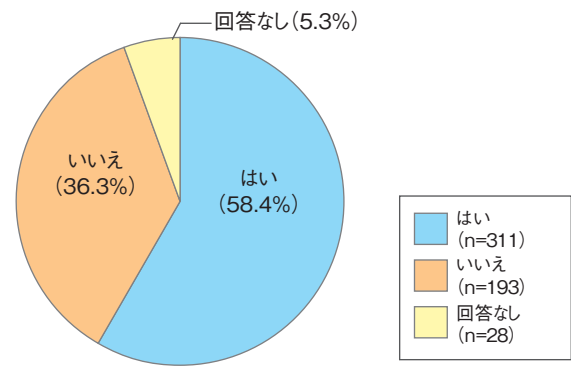
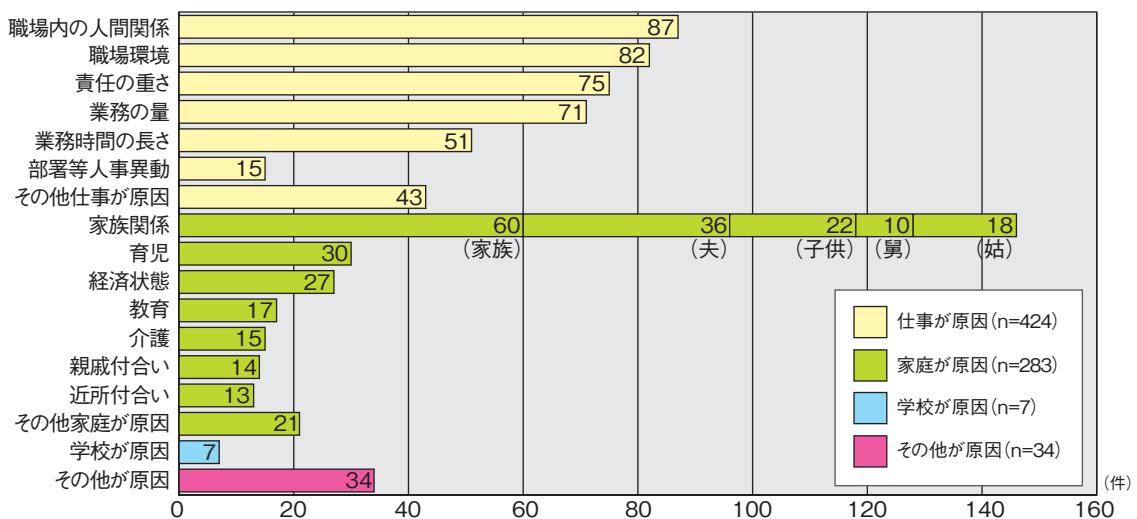
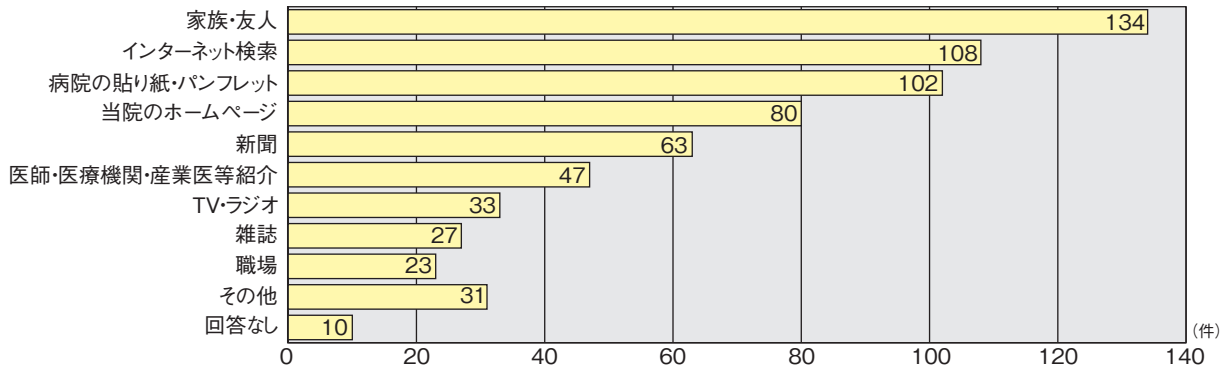


図23 ストレスの原因 n=748 (複数回答あり)



女性外来を知ったきっかけ

図24 女性外来をどのようにして知りましたか？ n=658 (複数回答あり)



・女性外来を知ったきっかけは、家族・友人が134名と最も多く、次にインターネット検索108名であった。(図24)

予約から診察までの時間、病院までの通院時間

図25 予約から外来診察までの期間 n=532

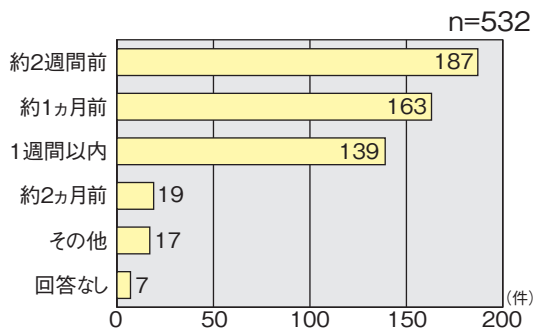


図27 女性外来の希望医師 n=532

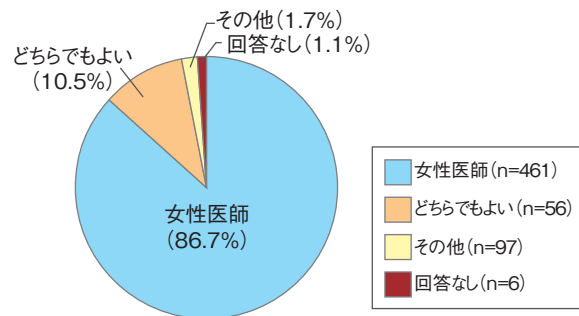
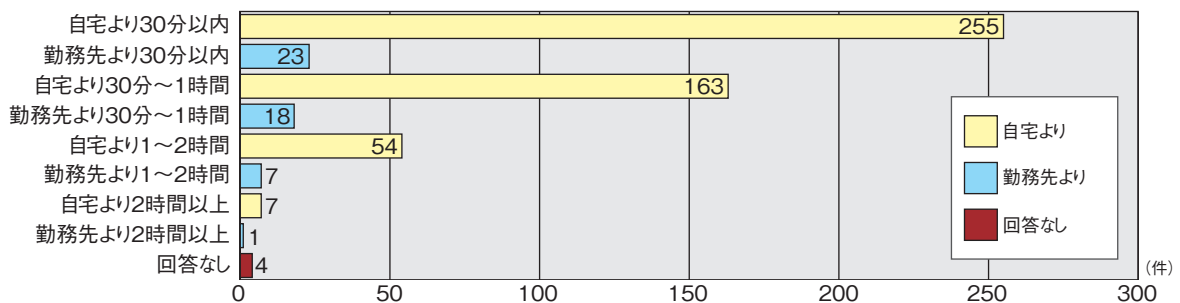


図26 通院時間 n=532



・予約状況は2週間前が187名、1ヶ月前が163名であった。(図25)

・通院時間は、「自宅から30分以内」が最も多かった。(図26)

・女性外来の担当希望医師は、461名(86.7%)が女性と答えた。(図27)

満足度

図28 次回の診療希望時間

n=474 (複数回答あり)

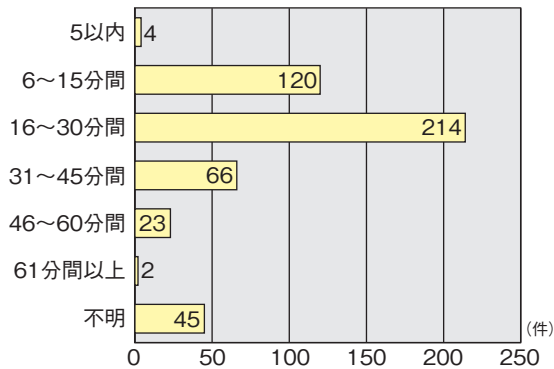


図29 次回診察希望の時間帯

n=505 (複数回答あり)

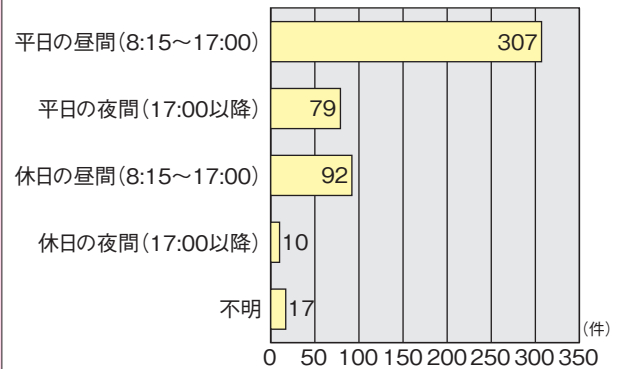


表1 満足度について

		満足度(%)
事務手続き	予約時	87.7
	受診当日	88.2
診察	診療時間	91.7
	診療内容	90.7
全体		89.7

表2 診察に関して

◆ 良かった点

- ・きちんと話を聞いてもらえた 43件
- ・女性医師で話や相談がしやすかった 38件
- ・安心できた 37件
- ・わかり易い、詳しい説明 28件
- ・女性医師で安心した 27件
- ・丁寧 19件
- ・親身に親切に対応してもらえた 15件
- ・アドバイスが適切 15件
- ・不安だった事が解消された 14件
- ・気さくでやさしい 14件
- ・楽になった 12件
- ・ゆっくり時間をかけて診察してもらえる 11件
- ・受診して良かった 9件
- ・悪い所が明らかになった 7件

◆ 改善すべき点

- ・待ち時間が長い 7件

- ◆ その他 63件

表3 今後の女性外来への要望

- ・休日・祝日・夜間診察してほしい 21件
- ・診察日を増やして欲しい 16件
- ・待ち時間の調整 11件
- ・予約が取りにくい 9件
- ・気軽に来れるようにもっと宣伝拡大 8件
- ・今後も希望 6件
- ・発展させて欲しい 5件
- ・複数科受診(乳腺系と婦人科等)
- も1日で受診できるようにして欲しい 5件
- ・待合室の改善 4件
- ・その他 49件

表4 予約時の事務手続きについての感想

◆ 良かった点	
・丁寧	25件
・親切	20件
・適切な説明	9件
・速やか	3件
◆ 改善すべき点	
・説明不足	5件
・予約時に待つ事もあることを 伝えて欲しかった	4件
・話が長い	3件
・予約何分前につけばいいのか 教えて欲しかった	3件
・説明がわかりづらい	3件
◆ その他	33件

表5 受診当日の事務手続きについての感想

◆ 良かった点	
・親切な対応	22件
・丁寧	16件
・安心した	8件
・分かりやすい説明だった	6件
・優しかった	3件
・待ち時間がなかった	3件
◆ 改善すべき点	
・待ち時間が長い	18件
・診察場所がわかりづらかった	6件
・違う場所に案内された	4件
◆ その他	36件

・表1.より、事務手続きの満足度は、予約時の電話対応・受診当日の対応ともに約88%、診察時間 91.7%、診察内容 90.7%であった。全体の満足度の平均値は89.7%であった。

・次回の診察にかける希望時間は、「16分から30分」が214名と最も多かった。(図28) また、診察希望日時は、平日の昼間が最も多かった。(図29)



女性外来受診時の病名

表6 受診病名数のまとめ

産婦人科疾患	32
精神科疾患	18
その他の疾患	
内科	84
泌尿器科	8
乳腺・肛門	16
合 計	158

※受診病名は合計で158に達した。

表7 産婦人科疾患の患者数

合計：288人

月経困難症 (不順を含む)	64	機能性出血	5	自然流産の疑い	1
		高プロラクチン血症	4	妊娠	1
更年期障害	34	続発性無月経	3	早期閉経	1
子宮筋腫	34	排卵炎	2	子宮円索水腫	1
月経前緊張症候群	31	不正性器出血	2	子宮下垂	1
子宮内膜症	24	子宮頸管ポリープ	2	子宮体癌	1
卵巣機能不全	23	子宮脱	2	子宮内膜ポリープ	1
卵巣のう腫	10	多のう胞性卵巣 (PCO)	2	子宮頸部異型上皮(疑)	1
過多月経	9			卵巣欠落症候群	1
膣炎	9	外陰部リンパ管炎	1	卵巣腫瘍	1
不妊症	8	外陰腫瘍	1	異常なし (子宮がん等検診希望患者)	6
外陰炎	7	性交障害	1		

表8 精神科疾患の患者数

合計：232人

うつ病(うつ状態含む)	60	適応障害	7	身体表現性障害	2
不安神経症	46	パニック障害	6	舌痛病	2
不眠症	30	摂食障害	5	統合失調症	1
心身症	22	過換気症候群	3	人格障害	1
神経症	20	不安障害	3	マタニティーブルー	1
自律神経失調症	19	心因反応	3	白衣性高血圧	1

表9 その他の疾患(内科)の患者数

合計：202人

筋緊張性頭痛	19	逆流性食道炎	2	間質性肺炎	1	口内炎	1
貧血	11	肥満症	2	COPD	1	慢性咽頭炎	1
冷え性	8	膠原病	2	心室性期外収縮	1	急性喉頭蓋炎 (気管切開後のトラブル?)	1
便秘症	7	不明熱	2	心肥大	1	腫瘍摘出術後 知覚異常	1
高脂血症	7	メニエール病	2	微小血管狭心症	1	皮膚掻痒症	1
めまい(眩暈症)	7	顕微鏡的血尿	2	リウマチ	1	筋力低下	1
下腹部痛	6	アトピー性皮膚炎	2	低髄液圧症候群	1	脳梗塞後遺症	1
末梢神経障害・しびれ	6	蕁麻疹	2	副腎皮質機能異常	1	関節痛	1
頭痛	5	にきび	2	ソ頸部リンパ節腫脹	1	膝関節障害	1
頸椎症	5	狭心症	2	顔面外傷	1	手関節腱鞘炎	1
高血圧症	4	鼠径ヘルニア	2	腋窩痛	1	手根管症候群	1
低血圧症	4	難聴	2	腋窩部腫瘍	1	尾骨骨折	1
耳鳴	4	喉頭アレルギー	2	わきが術後の瘢痕	1	脊椎多発圧迫骨折	1
慢性疲労症候群	4	機能性脱毛症	2	下肢静脈瘤	1	前胸部痛	1
片頭痛	4	下垂体腺腫	2	巻爪	1	性交障害(未完成婚)	1
皮膚湿疹	4	下肢神経痛	2	下腹部腫瘍	1	DV	1
糖尿病	3	線維性筋痛症	2	菌状息肉腫	1	異常発汗	1
肩腱腕症候群	3	亜鉛欠乏症	1	骨盤腹膜炎(治療後)	1	腰椎ヘルニア術後の 神経損傷	1
腰痛症	3	骨粗鬆症	1	アレルギー性鼻炎	1	異常なし	7
過敏性大腸炎	3	肝機能障害	1	慢性副鼻腔炎	1		
気管支喘息	3	下痢症	1	いびき	1		
甲状腺疾患	3	嘔吐	1	睡眠障害	1		

表10 その他の疾患(泌尿器科)の患者数

合計：21人

尿失禁	12	夜尿症	1	過活動膀胱	1
尿潜血	3	頻尿	1	尿路感染症	1
膀胱瘤	1	尿意切迫	1		

表11 その他の疾患(乳腺・肛門)の患者数

合計：30人

乳腺症	10	乳房腫瘍	1	脱出性内痔核	1
乳腺腫瘍	4	乳房拇斑(左胸部皮膚腫瘍)	1	痔ろう	1
乳腺炎	2	乳汁漏出症	1	慢性裂肛	1
内痔核	2	乳房緊満感	1	epidermal 肛門 cyst	1
乳房痛	1	乳腺内のう胞	1	異常なし (乳癌検診希望患者)	20
乳頭部腫瘍	1	胸部皮下腫瘍	1		

追加アンケート 一般外来受診患者による女性外来に関する調査 女性専用外来担当医師の性別について

図30 女性専用外来を男性医師が担当することに対して

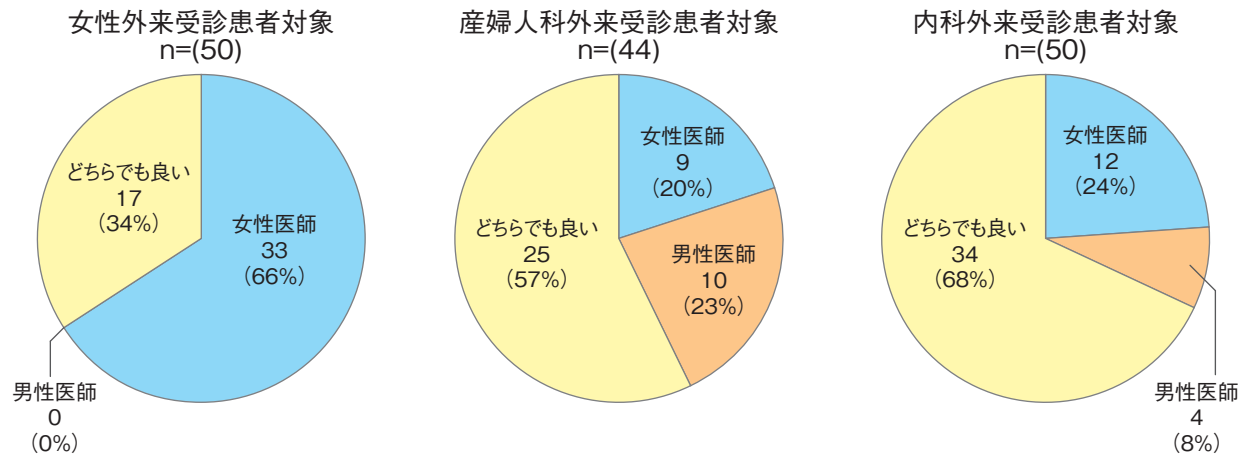
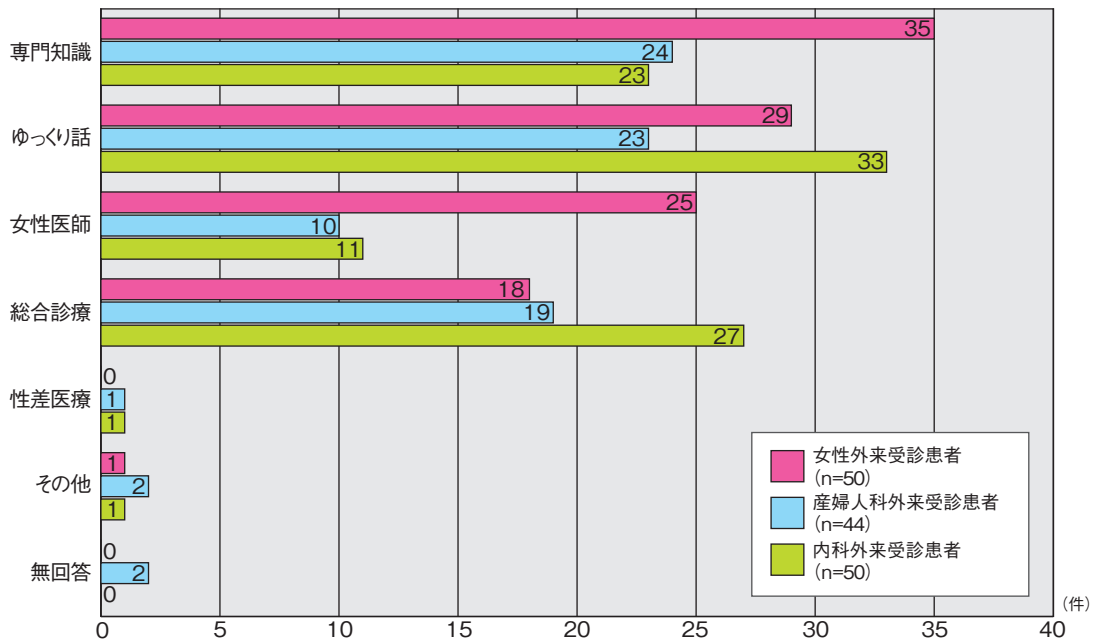


図31 診療受診別女性外来の医師に求めること (重複回答あり)



考 察

女性外来受診者の健康についての悩みの平均値は65.8%であり(図11)、対照の養護教員の平均値55.2%より高い傾向にあった。

図13より相談相手は家庭内では、男性も含めて「家族の誰かに相談している」が、友人・職場の同僚では、同性の占める割合が高かった。産業医と答えた人もあり、今後女性の就業率の増加に伴い、産業医の果たす役割も拡大すると思われる。

図14より軽微な症状で受診する患者と、様子を見て、症状が強くなったら受診する患者に分かれると推察される。

医療機関への抵抗感は、病院を受診していない学校の養護教員の平均値が40.1%であることと比較しても差はなく、強い抵抗を感じている人は少ないようであった(図15)。

また、図16より抵抗を感じる点については、待ち時間が最も多く、次に平日の診察日であり、アンケート回答者の66.1%が就労者(図3)であることより、仕事に支障が出ないように、時間調節しながら受診していることが伺われた。一方、3番目に男性医師が挙げられているが、女性外来を受診している人へのアンケートであるから当然の結果と考えられる。

女性外来の患者の多くは、女性医師による診療や、また総合的な視点からの診療等を希望されている(図17)。女性外来受診までに他の医療機関を受診しなかった人は217名(40.8%)であり(図18)、その中で188名(88.6%)の人は、何らかの不安を感じていたようであった(図19)。また、症状があるのに、受診科の選定ができず、受診に至っていないことも推定され、専門分野が細分化される一方、総合診療の必要性も浮かび上がってきた(図20)。

日常生活のストレスについては、対照として用いた養護教員では平均62.7%であった。また、厚生労働省が5年毎に行っている「労働者健康状況調査」によると、「仕事や職業生活に関する強い不安、悩み、ストレス等を感じる労働者の割合」は調査のたびに増加しており、平成14年は61.5%であった。これらと比較すると、女性外来受診者が感じる日常生活でのストレスは高い傾向にあった。(図21)

ストレスの原因は仕事と答えた人が最も多かったが、その中でも実際の仕事の内容に関すること(責任の重さ・業務量・業務時間)が197名に対して、仕事以外の要因(人間関係・職場環境・人事異動)と答えた人も184名あり、仕事以外の要因もストレスの原因として、重要であると推察された(図23)。竹村¹⁾らは中規模

事業所における女性労働者で「仕事上性差別を感じる」との回答が多いとの報告している。

女性外来受診のきっかけは、家族・友人に勧められる人が最も多かった(図24)が、平成14年、15年に和歌山労災病院独自の調査²⁾では、新聞が52%を占めた。今回の調査ではインターネット検索が大幅に増加しており、近年の情報入手手段の変化を反映している。

図25より予約から外来受診までの期間は1ヶ月以内が489名(91.9%)とほぼ良好である。一部診察日の少ない診療科(和歌山労災病院の泌尿器科・皮膚科)では、診察まで1ヶ月以上かかることもある。病院までの通院時間では、自宅より1時間以内が418名(78.6%)を占め(図26)、各病院の医療圏を反映していた。今後、就労者のみのデータを検討する必要があると考える。

図27より、女性外来の希望医師については、女性医師希望が86.7%であるが、「どちらでも良い」が10.5%あり、診察時間が確保され、十分な説明がなされれば、医師の性別は無関係になる可能性もある。

女性外来の診療体制・診察内容については、高い満足度を得ていると推察でき(表1)、次回もゆっくりと時間をかけて欲しい希望が伺えた(図28)。また、図29より、診察希望日時として、181名(36%)の人が平日の昼間以外を希望しており、就労者のみの解析をすすめ、再検討する必要がある。

女性外来を受診した人の病名は合計で158に達し(表6)、患者数は産婦人科的疾患288人(表7)、精神的疾患232人(表8)、その他の疾患253人(表9,10,11)とほぼ同じ頻度であった。

労災病院の女性外来に心療内科の医師はいないので女性外来担当医が、心療内科の分野も対応していると考えられる。

一方、何か症状があって女性外来を受診した人の中で、33名(4.3%)には異常が認められなかった。

まとめ

- ・女性外来受診のきっかけは、家族・友人に勧められる人が最も多いが、インターネットの普及により、ホームページも参考にされているので、女性外来の普及にインターネットを活用することも良い。
- ・女性外来の患者の多くは、女医受診の希望を持つことから、女性外来の担当医は初診時は女性医師があたり、男性医師は専門性で希望があれば診察する体制が望ましいと考えられる。
- ・診療の時間は15分から30分、診察時間帯は勤労女性を考慮すると平日の昼間以外の時間も開設する必要がある。また、女性外来受診者の中で、「特に病気だとは思っていない」あるいは「どこに受診すべきかわからない」患者が多かったことより、総合的な視点からの診察も希望されている。
- ・女性外来受診患者は、うつ・神経症など心療内科疾患、心理社会的問題の患者が多い（受診患者の1／3が心療内科的疾患）ので、精神科医・臨床心理士などとの協力体制が必要である。
- ・女性外来の役割は受診者の総合的な健康増進であり、具体的な内容としては、ストレス対策、がん検診、器質的疾患の発見、的確な医療情報提供などである。
- ・今後の検討・普及計画としては、労災病院間での問題点を検証し、他の女性外来設置病院との比較を行っていく。

参考文献

- 1) 竹村 祥恵、數川悟、成瀬優知：A県の中規模事業所における女性勤労者の精神健康調査。日本社会精神医学会雑誌，12(1)：1-12，2003
- 2) 和歌山労災病院における「働く女性専用外来」の現状と今後の展望（第1報）
in press

平成 年 月 日

『女性外来に関するアンケート』にご協力ください。

各質問について、あてはまるものに○を付けて下さい。

その他（ ）には、具体的にご記入下さい。

1. あなたご自身のことについて、お伺いします。

質問1. あなたの年齢はおいくつですか。（ ）歳

質問2. あなたのお住まいは、次のうち、どれに当てはまりますか？

- | | | |
|--------|------------------|--------------|
| 1. 市 内 | 2. 市外 (都・道・府・県内) | 3. 都・道・府・県 外 |
|--------|------------------|--------------|

質問3. あなたのお勤めの状況は、次のうち、どれに当てはまりますか？

- | |
|--|
| 1. 現在、働いている |
| 2. 今は働いていない (専業主婦 ・ 最近まで働いていた ・ その他) |

現在、働いていると答えた方に、お聞きします。

3-1 あなたの勤務時間等はどれくらいですか？

勤務日数：週（ ）日

交替制勤務： 1. ある 2. ない

勤務時間は、（ ）時 ～ （ ）時

3-2 あなたのお勤め状況は、次のうち、どれに当てはまりますか？

- | | | |
|---------------|--------------|----------|
| 1. フルタイム勤務者 | 2. パートタイム勤務者 | 3. アルバイト |
| 4. 派遣 (フルタイム) | 5. 派遣 (パート) | 6. 自営業 |
| 7. その他 () | | |

3-3. あなたの勤務先の事業内容は、次のうち、どれに当てはまりますか？

- | | | | |
|---------------------------|-------------|------------------|--------------|
| 1. 農 業 | 2. 林 業 | 3. 漁 業 | 4. 鉱 業 |
| 5. 建設業 | 6. 製造業 | 7. 電気・ガス・熱供給・水道業 | |
| 8. 情報通信業 | 9. 運輸業 | 10. 卸売・小売業 | 11. 金融・保険業 |
| 12. 不動産業 | 13. 飲食店・宿泊業 | 14. 医療・福祉 | 15. 教育・学習支援業 |
| 16. 複合サービス業 (郵便局、農業協同組合等) | | 17. サービス業 | 18. 公務員 |
| 19. その他 () | | | |

『満足度に関するアンケート』にご協力下さい

以下の問いに対しての満足度を%（パーセント）でお答え下さい。また問いの項目に対してのお気づきの点がございましたら、下の にお書き下さい。

《 事務手続き（受付等）に関するものについてお伺い致します 》

Q 1. 予約時の説明等対応について 満足度（ ）%

Q 2. 受診当日の対応について 満足度（ ）%

《 診察内容についてお伺い致します 》

Q 3. 診察時間は適切でしたか 満足度（ ）%

1. 次は何分ぐらいをご希望しますか、次のうち、どれに当てはまりますか？

1. 5分間以内	2. 6～15分間	3. 16～30分間
4. 31～45分間	5. 46～60分間	6. 61分間以上

2. 次回利用される場合に希望される時間帯は次のうち、どれに当てはまりますか？

1. 平日の昼間（8：15～17：00）	2. 平日の夜間（17：00以降）
3. 休日の昼間（8：15～17：00）	4. 休日の夜間（17：00以降）

Q 4. 本日の診察内容について 満足度（ ）%

Q 5. 本日の診察を受けて良かった点・悪かった点がございましたらご記入下さい。

《 全体的な評価をお伺い致します 》

Q 6. 家族や知人に当女性外来を勧めますか？ 1. はい 2. いいえ

Q 7. 本日受診しての女性外来全体としての満足度は 満足度（ ）%

《 今後の女性外来へのご要望がございましたらご記入下さい 》

ご協力ありがとうございました。

「働く女性のためのメディカル・ケア」分野 研究者一覧

○矢本希夫	和歌山労災病院 働く女性健康研究センター長
赤井智子	東北労災病院 第二呼吸器科部長
今中香里	釧路労災病院 リハビリテーション科部長
上條美樹子	中部労災病院 女性診療科部長
辰田仁美	和歌山労災病院 第三呼吸器科部長
野原理子	東京女子医科大学医学部 衛生学公衆衛生学教室
星野寛美	関東労災病院 産婦人科医師
宮内文久	愛媛労災病院 副院長
山崎正人	大阪労災病院 副院長
吉田眞子	釧路労災病院 耳鼻咽喉科部長

*○印は主任研究者（以下研究者五十音順）

本研究は、独立行政法人労働者健康福祉機構 労災疾病等13分野医学研究・開発、普及事業によりなされた。

※「働く女性のためのメディカル・ケア」分野

テーマ：女性の疾患内容と就労の有無並びに労働の内容との関連についての研究、開発、普及